

■事業主の魅力ある
職場づくりをサポート！

で展開することを目指しています。初年度は予備調査として、先進的な取り組みを行っている民間訓練施設の調査視察と定期的な連携会議を実施して、課題を共有した上で、新たな人材育成方を展開していきたいと考えています。

助成金例 職場定着支援助成金、建設労働者確保育成助成金

お問い合わせは
一般社団法人 山口県建設業協会
 Tel.083-922-0857 Fax.083-923-7101



また、県内の職業訓練施設についても取組稼働状況等の調査及び今後の連携について協議を行っていきます。



A group of men in suits are seated around a large, U-shaped conference table in a meeting room. The room has a whiteboard in the background and a large window. The men are engaged in a discussion, with some looking at documents on the table.

また、地方にも産官学連携を推進するための「地域連携ネットワーク構築支援事業」を公募開始、これに（一社）山口県建設業協会が応募し平成27年7月に採択されました。

■ 地域連携による
新たな教育訓練体系を！

国土交通省をはじめとする関係行政機関、建設産業団体、職業訓練機関、教育機関等の関係機関が一体となつて、建設産業における担い手確保・育成に取り組んでいくための体制を整備するとともに若年者の入職促進、育成のための事業を具体化し、実行することを目的として平成26年10月に「建設産業担い手確保・育成コンソーシアム」を設立しました。



保・育成協議会」が設置されていることから、下部組織として県内の建設産業団体及び職業訓練機関を中核とする専門部会を平成27年11月に立ち上げました。

今後は、県内の専門工事業団体や職業訓練機関等との連携ネットワーク構築を深め、各種助成金を活用した施策を共同



建設分野における就業者については、全産業を大幅に上回るペースで高齢化が進行しており、将来的に技能労働者の不足が強く懸念されています。また、震災復興事業の本格化、東京オリンピックの開催にともない、建設事業の大幅な需要増加が見込まれる今後、人材確保は喫緊の課題です。こうした状況の中、労働者の募集と職場定着を促進するために、さまざまな支援が行われています。

第2弾
未来を担う若い力を建設業に!!
新たな人材確保・育成対策を開始!

特
集
見
聞

聞く！
語る！

part. 3 実践力を身に付け社会へ羽ばたく！
工高・高専建設系学科の連携学習会を開催！



6月13、14日の2日間、山口県立徳山商工高等学校にて「工高・高専建設系学科連携学習会」を開催しました。（徳山工業高等専門学校、山口県立徳山商工高等学校、㈱エージェンシーソフト主催、（一社）山口県建設業協会共催、「山口県地域を支える建設産業担い手確保・育成協議会」後援）
これは建設系学科で学ぶ学生の皆さんに、工事を完成する上で重要な経済性を学んでもらい、より実践的な力を身に付けてもらうことを目的に開催したもので、今回が初回の試み。徳山高専土木建築工学科土木コースの2

5年生・23名、徳山商工高校環境システム科環境土木コースの3年生・14名の2校合計37名が参加しました。
当日は、全国的に高等学校等の教師や生徒に対して積極的な出前講座を行っている積算ソフト会社の㈱エージェンシーソフトの片倉さんを講師に迎え、授業形式で公共工事とその積算方法について学び、演習を行いました。生徒の皆さんは各々パソコンを操作しながら、熱心に講義に耳を傾け、サポートする先生に質問する姿も見られました。

石渡裕くん（徳山高専）と鈴木嵯恵さん（徳山商工）



参加された徳山高専4年生の石渡 裕くんは「積算は基準をしっかりと理解していないといけないと感じました。学校でも積算の授業があればいいですね」と話してくれました。また、徳山商工3年生の鈴木嵯恵さんは「将来のことを考え、先生方の薦めもあり、今回の授業に参加しました。初めてで分からないことばかりですが、しっかりと勉強しておきたいです」と抱負を語ってくれました。
講師を務めた㈱エージェンシーソフト取締役・片倉さんにお話を伺うと「高校生に講義をする上で、周りの先生方の熱意はとても重要です。まだ生徒さん本人達は就職しているわけではないので、積算

川崎主税先生（徳山商工高等学校）（左）



常に意義のあることです。今後は全県の生徒を対象として開催できればと思います」と意気込みを語って下さいました。
また、徳山工業高等専門学校・海田辰将准教授は「生徒達は工事にかかる金額について漠然としたイメージしかもっていません。今回のような学習会を通して低学年から事業の金銭感覚を身に付けておけば、他の授業の中でも『この

㈱エージェンシーソフト 片倉さん



の重要性に気付きにくいと思います。先生方がしっかりと生徒に説明しておられると、生徒も目的意識を持って講義に望みますので、集中力がありますね」と述べられていました。
発起人である徳山商工高等学校・川崎主税先生は「建設業界に就職すれば必ず必要となる積算ですが、高校では踏み込んで学ぶ授業がありません。卒業生からも積算で苦労しているという話を聞き、生徒達が社会に出てからの力になればと今回の学習会を開くことになりました。また、同じ分野を勉強している生徒同士、将来のことを話したり、交流を図ることも非常に有意義であること

海田辰将先生（徳山工業高等専門学校）（左）



工事はどのくらいかかるのか」と経済性を意識するクセがつく。これからの学習意識の向上にも繋がっているのではないのでしょうか」と期待しておられました。
最後に徳山商工高等学校・河村隆校長にお話を伺うと「建設系学科で学ぶ生徒達は卒業後就職する者も多く、社会に出てすぐに知識、技能、社会性といった実践力が要求されます。積算は授業でも扱わない分、生徒達も皆苦戦しているようですが、短期間で集中して自分のものにしていくことができれば大きな収穫になる。両校の生徒がお互いに良い刺激をうけながら頑張ってもらいたい」と生徒達へ激励の言葉を贈られました。

河村校長



1日目の学習会終了後には、手作りカレーを囲んでの交流会も開かれ、両校生徒の親睦を深めました。

